

5. 事業が長期間要している理由は？

元々が長期計画

不測の事態により長期化

全体延長L = 1.54km、全体事業費4,300百万円と事業規模が大きいいため、工区を分割し計画的に執行しているが、家屋移転を要する箇所が多く、用地確保に長期間を要する。
また、埋蔵文化財の包蔵地となっているため、その調査に長期間を要する。



人家連担の状況



埋蔵文化財調査の状況

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

本事業は、慢性的な渋滞の解消と、歩行者・自転車の安全な通行を確保するための4車線化事業である。

事業規模が大きく、人家連担地であり、また埋蔵文化財の包蔵地でもあることから、当初から長期間を要する計画となっているが、優先区間を設定して事業費を投入することで、効率的に部分供用を図り、事業効果の早期発現に努めている。

これまでに全体事業費の約80%まで進捗しており、最終の本関工区の用地買収もほぼ完了している。平成25年度完成に向けての課題は解消されていることから、一日も早い全体効果発現に向けて工事を推進したい。

